

なぜ卵重を測るのか？

- 毎日卵重を測定し、また体重の推移と照らし合わせることで、生産期間中の飼料給与量を正確に決めることができます。
- 日々の卵重は、トリの総栄養摂取が十分かどうか瞬時に知ることのできるバロメーターです。卵重は栄養が不十分だと減少し、過剰であれば増加します。



卵重の測定手順

器具・器材

1. 精度±10g、秤量10kgのデジタル式あるいはダイヤル式台秤
2. ペンあるいは鉛筆
3. 電卓

注—正確に測定できているか、適正な卵重コントロールができているか確認するために、すべての秤は定期的に(測定開始時と測定終了時毎)キャリブレーションする必要があります。

方法

卵重測定は10%産卵日から始めます。毎日、120-150個のサンプル卵を群として測ります。

Step 1 測定する卵は、2回目に集卵したものを使用します(前日に産んだ卵を避けるため)。測定する前に、すべての小卵、二黄卵、ヒビ卵と異常卵は取り除きます。



Step 1

Step 2 台秤を水平な場所にセットします。

Step 3 秤をゼロ設定し、空のトレーかセッタートレーの重量を測ります。



Step 2

Step 4 秤から空のトレー(複数枚)を降ろし、卵の入ったトレー(複数枚)の重量を測ります。

Step 5 卵とトレーの総重量を記録します。

Step 6 平均卵重を計算し、標準卵重グラフに記録します。グラフの目盛りは、卵重の日々の変動が明らかに分かるくらい大きく(1g単位)なければなりません。



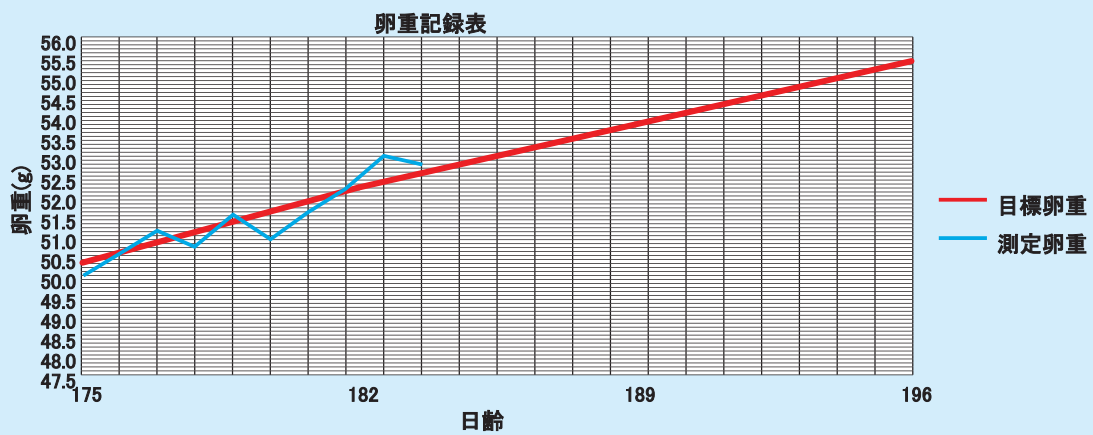
Step 4

計算例

$$\text{平均卵重(g)} = \frac{\text{測定総重量} - \text{総トレイ重量}}{\text{卵重測定個数}}$$

$$\text{平均卵重} = \frac{(7800 \text{ g} - 300 \text{ g})}{150} = 50 \text{ g}$$

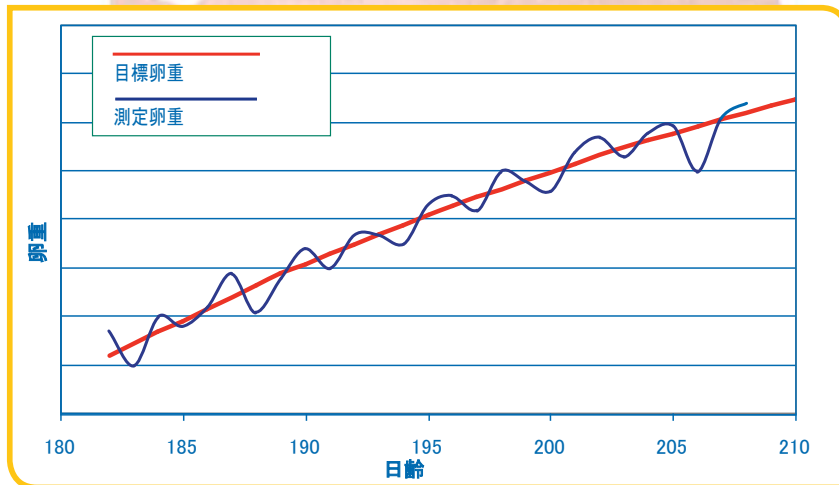
日々の卵重グラフ記録例



卵重測定結果の見方

卵重推移の正常なパターン

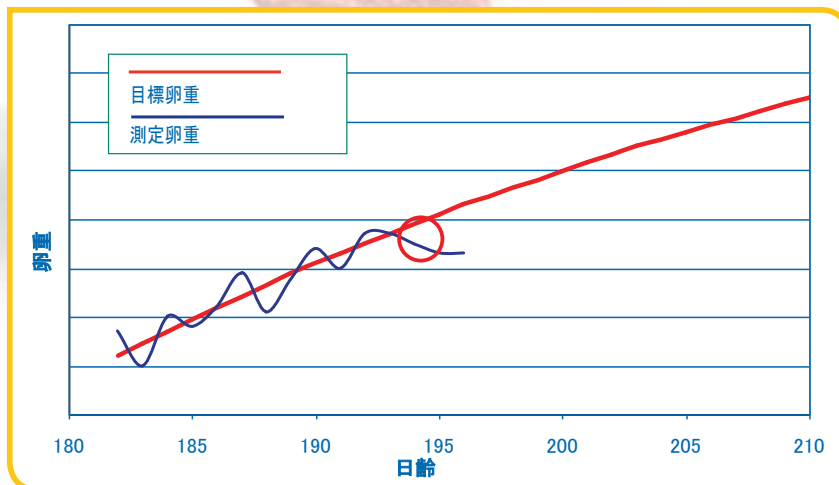
適量の飼料が与えられている鶏群の場合、卵重は、普通は目標曲線に沿って増加します。日々の卵重の推移は、サンプリング誤差や環境の影響によって、目標卵重の近くで変動が見られることもあります。



この場合、対応は不要

ピーク飼料給与時あるいはピーク飼料給与前の卵重の推移

1. 3-4日間にわたって卵重が低下、あるいは増加なし



対応が必要

鶏群は十分に飼料が与えられていません；もし鶏群がまだピーク給与量に達していなければ、飼料増量を前倒しするか、もしピーク給与量に達していれば飼料を更に増量します。

2. トリがピーク産卵に向かう時、卵重が3-4日間にわたって目標以上の増加傾向にある。

対応不要

飼料増量を遅くする、あるいは増量幅を少なくすることは、鶏群の産卵率に悪影響を及ぼすでしょう。実行するには十分な注意が必要です。しかし、次群の前に、給餌プログラムの見直しをしておく必要があります。

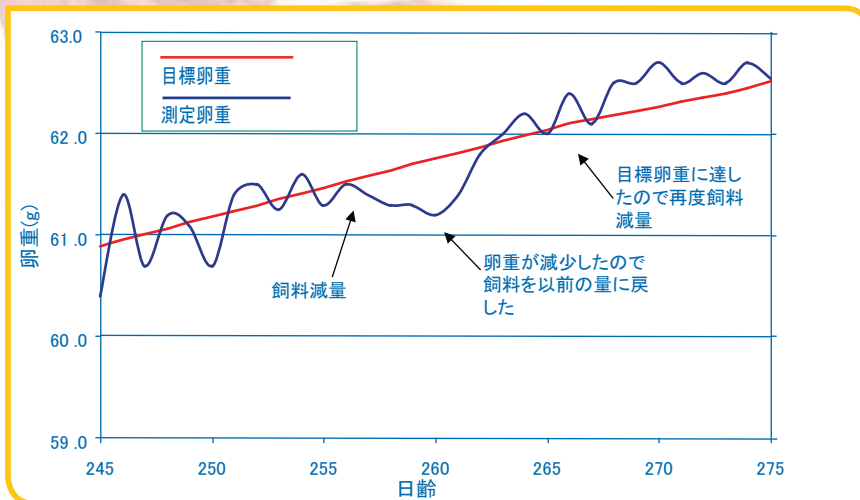
ピーク産卵後の卵重推移

1. 卵重が3-4日間にわたって期待卵重から減少傾向にある

対応が必要

飼料給与量を増やします。卵重の減少傾向は、ピーク後飼料減量を急ぎすぎた場合に、より顕著に現れます。

日々の卵重が期待卵重より一貫して継続的に減少し、飼料量を再び増加させる必要がある場合の飼料減量見直しの例。

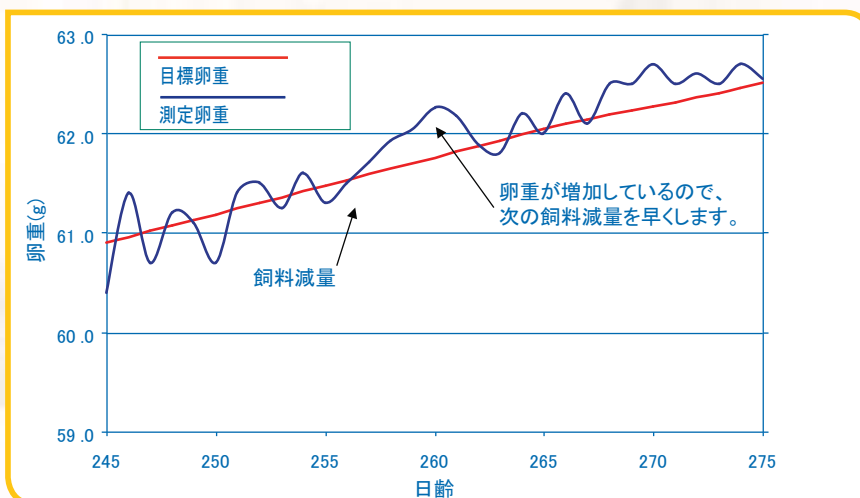


2. 卵重が3-4日間にわたって予測より増加傾向にある。

対応が必要

次の飼料減量を早める

日々の卵重が期待卵重より一貫して継続的に増加し、飼料量を再び減少させる必要がある場合の飼料減量見直しの例。



生産期にトリの飼料給与量を適正にコントロールするためには、日々の卵重測定結果を体重推移と照らし合わせて見るのが重要です。